

1. 改訂の目的

第3次行財政改革前期実施計画を着実に実施することはもとより、より高い目標を設定するとともに、新たな行革に取り組むことで、質の高い行政マネジメントにつなげ、3次総の実現と持続可能な市政運営を目指す。

2. 改訂の内容

(1) 体系図(全体像)の変更

基本方針(3)	改革の方向(9)	施策(30)・取組項目(148)	取組項目(154)
		256事業	305事業
I 市民協働・官民連携の推進	1 市民参加・協働の推進 2 官民連携の推進と民間活力の活用 3 開かれた市政の推進	5 施策(18項目) 3 施策(25項目) 3 施策(13項目)	18項目 25項目 17項目
II 質の高い行政運営の推進	1 人材育成・活用の推進 2 効率的な組織体制の確立 3 ICTの高度利用による情報化の推進	3 施策(10項目) 4 施策(10項目) 2 施策(10項目)	10項目 10項目 12項目
III 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進 2 効率的なアットマシの推進 3 地方公営企業の経営改善	4 施策(24項目) 3 施策(18項目) 3 施策(20項目)	24項目 18項目 20項目

[新規取組] 小・中学校校務支援システムの整備、統合型内部情報システムの構築、政策条例の制定

(2) 指標(目標値)の変更: 当初計画: 228指標のうち、26指標を上方修正

[主な取組項目]			
• 市税等の収納率の向上			
	[H26当初]	[H30目標]	
市税(現年分)	98.22%	99.04% → 99.17%	(H26比: 0.95ポイントUP)
国保(現年分)	89.65%	91.00% → 91.82%	(H26比: 2.17ポイントUP)
介護(現年分)	98.67%	98.71% → 98.78%	(H26比: 0.11ポイントUP)
住宅(現年分)	95.50%	96.00% → 96.10%	(H26比: 0.60ポイントUP)
水道(現年分)	98.56%	98.89% → 98.90%	(H26比: 0.34ポイントUP)
下水道(現年分)	98.50%	98.73% → 98.81%	(H26比: 0.31ポイントUP)
• 公衆無線LAN事業の推進			
	[H26]	[H30目標]	
アクセスポイント設置数	127箇所	300箇所 → 370箇所	(H26比: 243箇所増)
• 指定管理施設における利用料金導入施設数			
	[H26]	[H30目標]	
導入施設数	20施設	59施設 → 70施設	(H26比: 50施設増)
• ふるさと寄附金の推進			
	[H20~H25平均]	[H30目標]	
寄附者数	12人	100人 → 23,600人	(H20~H25比: 23,588人増)

(3) 効果額の変更

(改訂前)

(単位: 千円)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計
収入増額	1,612,830	1,674,339	1,971,344	2,092,880	7,351,393
削減額	1,481,047	283,296	596,786	766,004	3,127,133
将来負担の軽減 (投資的経費の縮減)	1,632,121	1,583,654	1,835,116	1,585,195	6,636,086
合計	4,725,998	3,541,289	4,403,246	4,444,079	17,114,612



約49億円増

(改訂後)

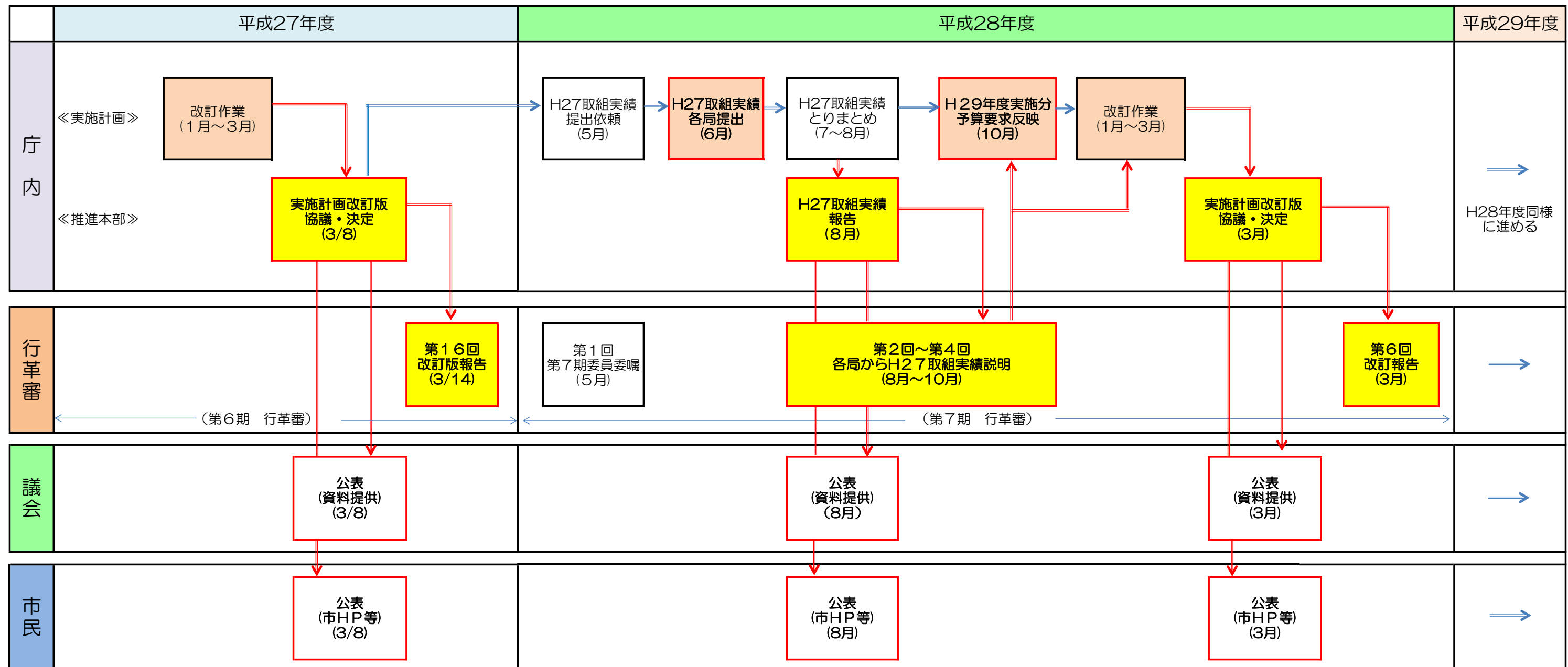
(単位: 千円)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計
収入増額	1,612,830	2,430,835	2,484,030	2,624,567	9,152,262
削減額	1,481,047	2,145,523	1,198,162	1,390,406	6,215,138
将来負担の軽減 (投資的経費の縮減)	1,632,121	1,592,087	1,843,549	1,593,628	6,661,385
合計	4,725,998	6,168,445	5,525,741	5,608,601	22,028,785

[主な取組項目] ※効果額は4年間の合計額を記載してある。

(収入増額)	(改訂前)	(改訂後)
• 市税等の収納率の向上 (市税: 約4億円増、国保: 約5.5億円増、介護: 0.3億円増、上下水道: 約0.5億円増)	約20億円	→ 約30.5億円 (約10.5億円増)
• ふるさと寄附金の推進 (寄附者数の増加・計画を前倒して実施)	約0.01億円	→ 約4.0億円 (約4.0億円増)
• 競輪事業からの繰入金 (G1: 日本選手権開催による集客率の増加)	7.5億円	→ 10億円 (2.5億円増)
• 公の施設使用料の見直し (改定施設数変更: 7施設→27施設 スポーツ施設・霊柩車・静岡音楽館・登呂博物館など)	約0.35億円	→ 約1.1億円 (約0.7億円増)
• 基金運用による利子負担の軽減 (債券購入運用額の増加)	約0.64億円	→ 約0.9億円 (約0.26億円増)
(削減額)	(改訂前)	(改訂後)
• 見直し項目設定による予算の定期点検 (予算枠配分の見直し・繰出基準の見直しなど)	約14億円	→ 約42億円 (約28億円増)
• 静岡型行政評価制度の活用 (事務事業総点検2次評価等によるコスト削減等取組事業数の増: 35事業→71事業)	約6.4億円	→ 約8.7億円 (約2.3億円増)
• 沼上清掃工場の灰溶融炉の稼働停止 (計画を前倒して稼働停止)	約7.1億円	→ 約7.4億円 (約0.3億円増)

第3次行財政改革前期実施計画改訂・実績報告等スケジュール



凡 例	
進行管理	→
説明・報告・意見反映	→